

令和6年度 第2回地域家庭教育推進会津ブロック会議

1 開催日 令和7年1月17日（金）13:30～16:10

2 会場 道の駅あいづ 湯川・会津坂下 会議室

3 開催趣旨

この会議は、会津地域の家庭教育の現状と課題を把握し、課題解決に向けた実践活動を推進するため、各郡市PTA連合会・学校代表・企業代表・地域代表による協議を行うものです。

今年度は、昨年度までの3年間で作成した「家庭教育における不登校支援」のリーフレットについての情報を共有し、効果的な活用について話し合いを進めていきます。また、今年度の新たなテーマ「親子のコミュニケーション」についての課題を洗い出し、「家族との食事の在り方」や「メディアとの付き合い方」、「子どもとの会話の時間や共通体験の大切さ」など、様々な視点から、親子のコミュニケーションを深めるための方策について協議を進め、啓発するための広報ツールを作成し、広く発信してまいります。（広報ツールは令和6年度から作成し、令和7年度完成予定）

4 内容

○ 会津教育事務所における地域家庭教育推進関連事業等の実施状況についての説明
（主な取組）

- ・ 地域家庭教育推進会津ブロック会議（6/12）
不登校への対応を中心とした「家庭教育リーフレット」の有効活用についての情報共有
新テーマ「親子のコミュニケーション」についての課題の洗い出し
- ・ 親子の学び応援講座（7/4）
会津美里町立新鶴こども園保護者会
講師：親業訓練シニアインストラクター 大屋 弘子 氏
喜多方市山都地区小中学校連合PTA（7/17）
講師：会津大学短期大学部 教授 中澤 真 氏
- ・ 家庭教育支援者地区別研修 親子のHAPPYコミュニケーション（7/31）
講演・体験「よりよい人間関係を育むための保護者・先生向けSGEエクササイズ」
講師：会津大学文化研究センター 上級准教授 小川 千里 氏
講演・演習
「子どもに“愛”が伝わっていますか ～「聞く」「語る」、心を通わすコミュニケーション～」
講師：親業訓練シニアインストラクター 大屋 弘子 氏
- ・ 家庭教育支援チームスキルアップ研修会
- ・ 福島県家庭教育支援チーム登録制度
特定非営利活動法人「優志会」
特定非営利活動法人「ファミリー・サポート・あいづ」
上記2団体の新規登録により、会津は計7チーム登録
- ・ 家庭教育応援企業推進活動
「(株)メガネトップ 眼鏡市場 会津若松店」
「会津商工信用組合」
上記2社の新規登録により、登録企業数は計161社

- 今年度の新たな協議テーマである「豊かな人間性を培う親子のコミュニケーション」について議論し、広報ツールの内容について検討する。

(A班)

- ・ タイトル「親子のコミュニケーション」親子で育てる4つの宝
- ・ 宝1 食事（どのような食事をしたらいいかについて）
- ・ 宝2 約束（親子でメディア・スマホの約束事を決める）
- ・ 宝3 学び（親子での共通体験の奨励）
- ・ 宝4 会話（子どもの話にしっかりと耳を傾ける）

(B班)

- ・ タイトル「親子のハッピーコミュニケーション」（興味をもってもらいたいレイアウトに）
- ・ 「ありがとう」「たのしく食事」「ねえねえ、あのね」「いっぱいほめてね」「どうする?スマホ」の5項目
- ・ 会津教育事務所HPのQRコードを掲載し、いつでも見ることができる工夫をする。

(C班)

- ・ 両面作成し、家庭で好きな面を選んで掲示できる工夫をする。
- ・ 各家庭でルールを記載してもらえよう工夫をする。
- ・ 例として（1条）毎日笑顔であいさつをしよう！（2条）スマホルールは家族ルール！
（3条）家族みんなで楽しくごはん！（4条）子どもの話はしっかり聞きます。
（5条）家族をほめよう認めよう（6条）親子で過ごす時間は宝物！
（7条）我が家で一番大切なことは○○！

【当日のグループ協議の様子】



- まとめ（鶴見常夫 委員長）

- ・ 分かりやすく効果的な広報ツールを作成するために、各グループで熟議された結果、いずれのグループからも素晴らしい提案があり、今後これらの提案を踏まえて、広報ツールを作成していきたい。
- ・ 委員相互の情報交換を今後も継続し、よりよい家庭教育支援を行っていきたい。

5 本会議の成果と課題について

〈成 果〉

- グループ協議では、「親子のコミュニケーション」の在り方について、様々な視点から意見が出された。それをどのように意識してもらえるかについて、具体的なキーワードや例示について活発な話し合いが進められた。事前に事務局で委員へアンケートをとり、それを一覧にして提示したことにより、協議がスムーズに進められた。
- これまでに家庭教育ブロック会議で作成された様々なツールとのつながりを意識した取り組みになるよう、協議が進められた。その際、できるだけ学校に負担が掛からないようPTAやその他の組織を上手に活用することができるような視点で協議が行われた。

〈課 題〉

- 年度が替わると、ブロック委員が1/3程度入れ替わる。今年度の協議を踏まえ、広報ツールを完成させるために、引き継ぎと情報の共有について工夫する必要がある。
- ブロック会議で協議し作成する広報ツールの活用について、予算がない中でどのように域内の家庭に情報を提供していくか。紙ベースだけでなく、デジタル版での配布等について、今後有効な発信方法を検討していく必要がある。